

川南町議会・令和7年9月定例会一般質問【 河野 禎明 議員 】

(令和7年9月10日 午前11時29分 開始)

○議員（河野 禎明議員） 昼過ぎて飯食べてから一般質問をやろうと思っていましたら、ちょっと、本当にこういうことが初めてで、今さっきまとまったばかりです。

一般通告に従い、3項目質問したいと思います。

1番目、中学校統合について、2番目、自治公民館制度について、3番目、タウンミーティングについて、これをお伺いしたいと思います。

今回は私、町長は今就任して1年目ですが、最初は行政のこともなかなか分からなくて大変だろうなと思っていて、やはり町長への質問は控えたほうがいいだろうということで今まで控えていました。しかし、今回は、ちょっとChatGPTというやつも利用して、町長にいろいろお聞きしたいと思います。

1番目から下の質問席でお伺いしたいと思います。

川南は悪臭で有名ですが、これ私、中学校統合で、6年前からもう何遍も聞かされたんですけど、中学校のトイレが臭い。中学校のトイレが臭い。6年前からです。だから新しい中学校を建てなきゃいかん。それを何度も耳にしました。町長、中学校のトイレが臭かったら新築せないかんですか。町長のお考えをお聞かせください。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

中学校については、教育委員会の意見を尊重したい。この一点につきます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 予想どおりの返事が出て、次がやりやすいですね。どこの自治体も古い校舎を修理しながら使っています。

例えば、県内は、西都市、串間市が中学校統合ですね。串間市は、私たちは5年ぐらい前に視察に行きました。そしたら、市の中心である福島中に、ちょっと増築みたいなことをしたり、体育館の改修ですか、それから体育館が狭いのかな、武道館をちょっと新しく造ったりしました。統合にかかる費用が、串間市の場合は9億6500万円、そのうち補助金は2億3500万円、そして、起債を3億9200万円発行しましたが、これは後から交付税で返還されるということで、実際補助金の総額は6億2700万円になるそうです。これ非常に関係者が努力されて、統合計画をうまくやられたなと思います。だから、串間市は福島中で既存のある中学校を利用して統合ですね。そして、この串間市が今、保護者が喜んでるのがスクールバスが6台動いているんです。最初は反対だったんです、父兄は、統合に。6台動いて、最初の朝は1台、1回ですね。夕方は、帰宅のときは部活しない子が先にいます。そして、もう一回部活の子がちゃんと用意されています。その6台が非常にスムーズに動いて、昼間は年寄りの移動とかにも使われて大変好評です。

西都市は来年、妻中で統合するという計画をちゃんと確認しました。これは、ちょっ

とした修理をして4億、いろいろちょっと手をかけて統合するそうです。校舎はもうそのまんまだそうです。

このように、県内の自治体は、中学校の統合については今ある中学校で統合する。これは、私は当然の考えだと思うんですが、町長、これはどうしてこの教育委員会が決めたのを、これ認めたら大変じゃないですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

繰り返しになりますが、中学校については教育委員会の考えを尊重したい。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 予算をするのは、町長、執行部じゃないんですか。教育委員会がお金のことを考えんで、いい計画、環境のいい新しい校舎を造るといっても、行政はいろいろ調べて、これに対して、いや、ちょっともっと考えてくれよとか、そう言うべきじゃないですか。教育委員会の言うことに任せる任せると言ったら、町長は必要ないじゃないですか。本当に教育委員会の言うとおりにするんですか。町長の意見はここに反映されないんですか。お答えください。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

金額、資金等については、しっかりと対応していきたい。

ただ、新中学建設ということに対しては、教育委員会の意見を尊重する、そういうことです。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） このような町長の発言は、今まであり得なかったことですから、これから先困りましたね。町長が町のかじ取りなんですよ。

例えば、建築費のことでもそうですね。教育長は、去年のアンケートでも出ていましたが、あそこの校舎、新校舎に70億円近く、校舎だけ、建物かな、それだけかかりますよと、備品は入っていませんということを聞いています。去年から、もう1年間で建築資材は新聞でも見たら分かりますけども、既に上がっています。宮崎市役所は1年間で50億円、もう試算上げました。1年です。今、物は物価がどんどん上がっています。

そしたら、ふるさと公園のそばに建てるとなると、あそこの備品も要ります。それから、教育長が言う、将来小学校のことも考えないかんから教育委員会ものいてもらおうとか、そうなると、中央保育所もどっか移転してもらおうとか、そういうことになりますよね。そしたら、周辺の通学路の整備も必要なんですよ。ただ中学校建てて終わりじゃないんですよ。あの町の中ですから、周辺整備がだいぶかかります。そしたら、もう80億、90億とかいう金額が、可能性が出てくるんです、これは。専門家に聞けばすぐ分かる。鉄筋で建てようとするこの金額になるんじゃないかと思うんですね。

そこで、私もChatGPTとか何かで調べてみますと、北海道の北見市、とんでもないことが起きています。4年前、118億円の新市庁舎を建てました。今現在、毎年約30億円の財源不足。人口はどんどん減少するので、市民の負担は増すばかり。今、公共施

設やサービスが廃止になっているところがあります。ごみ袋10枚900円だったのが、今度1,350円にしようかという話です。こういう建築費の高騰が、今、学校建設に大きな問題になっているんです。

町長、これは財政に負担がかかってくるんじゃないですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

今、資材等が高騰しているという質問だったと思います。そのことに関しては、できるだけ早く進めることが大事だと思っています。そのことによって、ほかの財政に支障が出るんじゃないか。そういうことについては、しっかりと町として対応してまいりたいと思います。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 教育委員会も含めて将来的なビジョンを、教育長は、私は物すごくすばらしいと思います。小・中、子どもの小学校のことをよく考えてくださるんです。だから小中一貫校、絶えず頭の中に入れてくださっている。そしたら、こういう段取りも考える必要があるんじゃないかと思うんです。

これ防災マップですね。これ見るとよく分かるんですけど、唐中の位置なんです。あの運動公園のそばと比較したときに、何が起きるか。唐中、特に川小が町の中心です。これ見たらすぐ分かります。そこの運動公園のそこは、ちょっと外れます。何が起きるかという、あそこに中学を造ったら通学に、今、唐中に自転車で通学している子どもたち、山手、掛迫、込ノ口、竹浜、八幡、鍛冶別府、大猪ノ久保、名貫、番匠、これスクールバスが1台では足りないんですね、これは。もし、これ唐中を使えば、今、唐中に来ている子はほとんど自転車で来ています。あと、国中の子どもたちが浜なのか、鬼ヶ久保なのか、それから西別府近辺、湯迫、それから多賀小の近くで、どうしても自転車で行けないという方を拾うのがバス1台で足ります、これは、唐中の場合は。こういうことができます。

だから、今急ぐのは、この唐中をプレハブ1つでもいいから造って、教育長、早急に統合したいと言っているんです。私、校区説明会で、早急ということを何遍も聞いています。もう取りあえず唐中でプレハブ建てて統合して、それからですよ、その悪いところは。この前も説明会行ったら、継ぎ目のところが悪い、トイレが臭い、いろいろ言われました。そこはちゃんと修理しましょう。前、東町長がトイレもすぐに洋式化にしました。やれることはすぐやりましょう。

そして唐中を、8年、10年でもいいですね。使えるんです。お金かけなくても使えます。8年か10年後に小中一貫校を、これもう600名ぐらいです、生徒数は。ここで小中一貫校を考えるのが、まともな行政の考えです。今、中学校だけ造るというのは、おかしい考えです。今、中学校だけ造ったら、小学校はいつ造れるか分からないんですよ。今の保育園の保護者は物すごく心配してますよ。何で中学校だけ造るのかと言っていますよ。

そこで、8年後、10年後のことにも関係するんですが、小中一貫校を造るのにいい方

法がありました。町有林がいっぱいありました、町には。ヒノキ、杉の木、いっぱいあります。そしたら、鉄筋とかじゃなくて、鉄筋は狭いところじゃないと鉄筋を使えるんですけどね。広い敷地に町有林の木材を利用して、そして小中一貫校も地元の業者の人で造ると。これ誰が考えても、おお、いいこと考えたと言ってくれるんです。これは町民の意見ですけど、私の意見じゃないです。町民がそう言っています。

だから、ここは町有林の活用。木材、これは鉄筋じゃなくて木材だと補助率もいいです。町長、そのところは、町長の意見をお伺いしたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 町民の様々な意見があるという河野議員の意見ですけど、そういったことも全て含めて、今後、設計等が行われていくと捉えています。今の時点で、本来であれば、教育委員会、今回、各町民に中学校統合という形の説明をしています。ただ今後、そういった設計であり、資金であり、資産でありということになるのは、今後のことだと考えております。様々な方法があると捉えていますので、しっかりとお金に関わることにしましては、しっかりと意見を交換しながら進めていきたいと、そのように考えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） そうですね。やっぱりこの建築費の総額、周辺の整備費、総工事費が出ないとこの問題は難しいですね。そこがやっぱり考えているより高い金額が出たら、やはりここは健全財政をするためには、唐中利用ということを考える必要があると思います。

それと、もう一つ、教育委員会は、ふるさと公園、芝生広場のところ、口蹄疫の慰霊碑のあるところに中学校建設を計画されたわけですが、ここは、前、東町長があの芝生のところは、私は議会で要請して中学校建設をあのときに止めましたから、桜を植えて花見の公園にしてくださいと、バーベキューもできるようにしてくださいと、そうお願いしたら、やりますという返事をいただいています。

今、グラウンドゴルフ協会の人があそこをグラウンドゴルフに使わせてくれと、大会もしたいと、そういう要請も来ています。ほんとグラウンドゴルフだったらあそこはいいだろうと思います、これはそして、トイレの問題があって、ちょっと今グラウンドゴルフも何か使いにくいんだそうですけど、教育委員会のトイレを使うことで、何とかグラウンドゴルフ大会もできそうな感じになってきています。

この運動公園のそこは、前スポーツランド構想というのがあって、キャンプが、野球、サッカー、まあ来ていました、コロナの前は、竹乃屋さんがしているとき。キャンプ人口はすごかったです。これ、私は考えたんです。あそこに中学校を造ったら商店街が発展するという意見もありますが、私はあそこに室内練習場があって、野球場があって、今度国体でも使う、整備されている、サッカー場もある。それにもう一つ何か加えたりすることで、やっぱりスポーツのキャンプを増やさないといかんと思うんです。キャンプに来てもらう。そしてグラウンドゴルフとかいろいろ大会をしてもらうことで、商店

街は潤うと思うんです。中学校より、商店街は潤う可能性があります。

町長、これ物すごくもう高齢者から聞かれて、町長の返事がどうしても欲しいんですが、町長、ふるさと公園、あそこの花見の予定の芝生広場、口蹄疫の慰霊碑のどこ、これをもう残してもらえませんか。どうですか。はっきり返事してください。

○議長（中村 昭人議員） 河野議員に申し上げます。通告書にない質問では、なかなか答弁もできないと思いますが、通告書の内容で質問をしていただきたいと思います。

○議員（河野 禎明議員） 教育委員は本当に子どものことを考えたら、あそこのサンAドームのそばで環境がいいかどうか、それは建物が新しくて環境はいいですよ。だけど私たち、教育長も町長も唐中出身です。唐中がどんなところか分かっています。私たちは菜種の作業、茶摘み、銀座の上の山の草刈りですか、それから職業家庭の時間は昔の兵舎跡の基礎ですね。基礎が頑丈なのがあるんです。あれを職業家庭の時間に壊さないといけないんですよ。これは授業じゃないけど、今考えたら役に立っていますね。何でも役に立っていますね。

そこで、やはり中学生、川南の中学生はどうやって育てるか。ただ箱物が新しい校舎で図書館がそばにあるところで育てたほうがいいのか。私は違うと思います。私はこう考えています。今、私は畑を借りて自分で芋を作って、この前もスイカも作りました。非常に勉強になりました。子どもにはもちろん授業もですけど、やはり農作物の米作り、それからほかの野菜作りでもいいです、芋作りでもいいです。やはり自然と触れ合う授業、これをできるのは唐中だと思うんですよ。唐中の周りの自然を生かして自然力のある子ども、都会の子は学力は高いけど自然力はないです。さて、社会に出たとき、自然力のある子は必ず伸びます。

例えば、成績がちょっとでも悪くても、社会で伸びるのは自然力のある子です。それを教育委員会が一番に考えないと駄目じゃないんですか。これは、自然力のことはお聞きしてもいいですか。

○議長（中村 昭人議員） 通告は、西都市、串間市の既存の中学校を利用した方法を参考にできないかということです。だから、今の質問に対してもそういう意図があるということですね。

○議員（河野 禎明議員） このことも考えて、もう一つ考えがありますね。中学校の部活、結構大事なんですよ。部活、子どもは生き生きします。そしたら今、生徒数はどんどん減るんですけど、部活をちゃんと考えると、例えば、川南はサーフィン部ができるんです。あそこに指導者もいっぱいいます。私は前から言っているけど、テレビであるSASUKE、あのSASUKEの部活をさせる、あれ全部じゃなくてもいい、3分の1でもいいから、SASUKE部をつくる。指導者には北浦に長野というスターがいます。そういうことをすれば、子どもは全国から50名ぐらい来る可能性があるんです。空いた校舎、国中が空いたら、国中を寮に使えばいいですよ。部活をもうちょっと力を入れるんです。ユニークな部活、部活活動、それをみんなで考えるんですよ。そうする

ことで生徒数の減少を防げる可能性があります。教育長はどのように考えられますか。
○教育長（平野 博康君） 部活動についてということではよろしかったでしょうか。中学校を統合することで部活動の選択の幅は広げられるのではないかなという期待は持っているところでございます。

あわせて、中央部に設置することで、例えば、文化ホールでありますとか、図書館でありますとか、いわゆる文化、スポーツだけではなく文化系の部活動、あわせて運動公園もありますので、スポーツ系の部活動、こういった近隣の施設等を有効に活用しながら部活動の充実が図っていただけるのではないかなというふうに思っているところです。現時点で、S A S U K E部についてということについては考えておりませんが、部活動については、子どもたちのニーズも含めて検討していかなければならないかなというふうに思っております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） そうですね。文化部のことを考えるとありでしたね。私は、生徒がどんどん、今度、私立高校が無償化になると、どうしても中学生が、親が大学のことを考えると私立の中学校、高校にやってしまうんです、今度。それが一気に増えてくるんです、来年から。それを考えると、生徒数の減少を防ぐためには、今できることは、部活を考えることが必要だな、サーフィン部、S A S U K E部、何かもう一つまだユニークな部があると、やはり、よそから来てくれる可能性がありますね。これはぜひ考えていただきたいと思います。

最終的に私が言おうとしていることは、この建築費の高騰やいろいろ含めると、もう取りあえず今プレハブ1つ建ててもいいから唐中を利用して、もうそんなにお金をかけずに、トイレは恐らく洋式化したほうが、臭いが大分……。この前行ったときに臭わなかったんです。この臭いといえば本当にひどいんですよ。川南小学校のトイレなんか物すごく臭いらしい、運動会のときに行くと。だけど、小学校は建てないとかそういう声は言われないんですね。中学校のトイレが臭いと新築というのが面白いなあと思っています。そうですね、大体、以上で、中学校関係の質問を終わりたいと思います。

○議長（中村 昭人議員） しばらく休憩します。午後の会議は1時15分からとします。1時15分から開会します。

午前11時56分休憩

.....

午後1時15分再開

○議長（中村 昭人議員） 会議を再開します。

休憩前に引き続き、一般質問を続行します。

○議員（河野 禎明議員） 2番目の項目の質問に移りたいと思います。

今、私は振興班長をしているのですが、やっぱり今感じることは、振興班長で最初に会費の徴収に回ったときに、3名の方が今年いっぱい振興班を抜けられるとおっしゃ

るわけですね。よく考えると、やはり今、私たち振興班というのがコロナの後、いろいろな活動が止まってしまって、少し皆さんが振興班から離れるような気持ちが多くなっている。

それに対して、例えば、中央地区、西校区はあまりにも世帯数が多いんです。中央校区でも恐らく1,800世帯くらいあるんじゃないでしょうか。西校区でもそれに近い世帯数があると思うんです。これは何か改善する必要があるんじゃないかと思ったのですが、どなたかお答えのできる方がいらっしゃいましたら。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

現在、自治公民館の区域は、小学校の通学区域を基準に設定させていただいており、川南小学校区については、中央地区と川南西地区に分けています。その背景には、今後予想される人口減少に対し、どれくらいの規模の自治組織であれば、人口減少にもある程度対応できる組織となるのか、どのような自治組織を形成することが住民にとって理解されやすいか、どのような区域を一つのまとまりとすれば、これまでのつながりも維持できるかなどを検討した結果であります。

現在の自治公民館区域では、世帯数が多過ぎるのであれば、活動によって区域を設定するなど、それぞれの自治公民館の活動内容やつながり等を考慮して判断していただいてもよろしいかと考えます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） ぜひ、何か改善の方向で考えていただきたいですね。私が振興班長になって、昔の話ですけど、昔は分館ですから。分館は月1回集まりが、毎月10日にあっていました。そこでいろいろ情報が入る、来月はこんな行事をする、いろいろな話合いがあって、振興班長もその行事に参加するということで、新しい若い人が振興班に入ってきて、振興班長をすることで地区の人とのつながりができていました。今、私もびっくりしたんですけど、振興班長になって1回も集まりがないんですよ。私、ちょっとこのことが、山本とか多賀校区なんかは月1回集まっているらしいんですけど、中央校区と西校区は集まっていないのか、ちょっとそれが今どのようになっているか、どなたか分かっている方お願いします。

○まちづくり課長（稲田 隆志君） ただいまの御質問にお答えいたします。

中央地区については、私も詳しくは存じないんですが、定期的な振興班長を集める会議はしていないということで、規約によりまして、役員会の内容を地区の代表の方が振興班長へ連絡するという形を取っているようです。振興班長を集める回数等は、各自治公民館がそれぞれの地域の実情などを考慮し、各自治公民館運営委員会等で計画し、総会で承認されているものと思います。今後もより多くの方々に、それぞれの自治公民館活動に参加していただくために、また、自治公民館という枠組みの中で、より強固なつながりができるように、それぞれの自治公民館で御検討いただきたいと考えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 振興班長が月 1 回集まらないと、振興班が活動がもうないというか、難しいんです、維持するのが。振興班の中にもう高齢者がいっぱい発生しています。この高齢者は、私たちの地区は二ツ橋地区ですから、80歳になったら振興班長はもうなくていいということになるんですけど、そうになっていくと、若い人だけに振興班長が回ってくるということで負担をかけてしまう。何か、ここは、私はやはり町としては、やっぱりちょっとチームみたいなをつくって、この振興班の在り方、高齢者も含めて若い人、どうやったらこの振興班が今から先も継続していけるのか。楽しい振興班でやっぱり活動もないといかんから、活動費もあんまりないですね。だから、何かそこに行政がちょっといい知恵を出してもらえるといいと思うんですけど、何かそういうチームをつくって話し合いをすとか、そのようなことはどうでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

振興班の活動が希薄になっている、このことは私も承知しております。ただ、今現在、自主防災組織の育成を一つのきっかけとして、地域づくり、それからまちづくりにおいて重要な視点、ポイントであると考えています。自主防災組織の育成を強化して、振興班に入っていない人たちでも、地域で自分たちの身は自分たちで守っていく。そういった、人のつながりを大切にするようなまちづくりをやりたい。その一つのきっかけが自主防災組織だと思っています。何としてもこの自主防災組織を拡大していきたいと、そのように考えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 自主防災組織というのは、私たちにとっては、期待の組織になる可能性があります。ぜひこれをうまく利用して、振興班と自主防災組織がうまくマッチングしたような、何か新しい形をつくってもらえたらと思います。

西校区のことなんですけど、西校区の公民館長はまだパート扱いの公民館長になるんですか。常時なんでしょうか。ちょっとお伺いします。

○まちづくり課長（稲田 隆志君） ただいまの御質問にお答えします。

何曜日に館長が公民館、コミュニティセンターに行っているかまでは、私の記憶にないんですけども、1週間通してではなかったかと思います。パート扱いというのは、私もよく分かりませんが、そういった御認識でお願いいたします。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） この公民館長は大変重要な扱いなんですよ。町長、これは西校区の公民館長は常時働いてもらえるような人、早急にこれは改善する必要があるんじゃないかと思いますが、どうでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

パートという表現がありましたけど、各自治公民館、館長を中心に、主体的に行動を行っていると考えています。西公民館だけが活動していないということはないと捉えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 西公民館は地区のことを考えたら、とんでもないことなんですよ。清瀬という大世帯があるんですね。開拓があります。そしたら向こうに行くと下野田、小池、市納、鶴戸ノ本、祝子塚、これ、まとめるということが普通の人でできないんですよ。この区割りをしたのは、前々、前の町長なんですけど、とんでもないことなんです、この区割りのやり方が。まだ中央校区は1分館、2分館、3分館、4分館で旧分館と呼んだ。結構まだ家がもう隣り合わせにあるんですよ。西校区は、地区が物すごく飛んでいるんです。これをまとめるということは、もうほとんど不可能に近くて、ここに町長はメスを入れていただく必要があるんですけど、どうでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

今、西自治公民館のお話をいただきました。私は、各自治公民館、全てが館長を元にしっかりと機能していると捉えています。西公民館だけが範囲が広いから、できてないんじゃないかなということではありません。私は、西公民館の様々な事業には参加させていただいております。しっかりと取り組んでいるという認識です。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 最後の質問をしたいと思います。

タウンミーティング、これは議会報告会で、私たちが議会報告会したときに、行政に対する質問が結構多くて、議長も返答に困られていたし、本当に町民の方は、議会と行政とも一緒にされているんだなと思って。これは、町長、執行部がどうしても町民の声を聞くタウンミーティングをしてほしいんです。町民はいっぱい言いたいことがあります。これは町長もぜひ、されるならしますと言ってください。お願いします。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えします。

町民の方々に寄り添い、また、町民の方々の意見を賜る、そういった場合は絶対に必要だと思っています。時期、場所については、今、答弁する準備ができておりません。ただ、必ず今期中にタウンミーティングは開催する。そのように考えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 以上で、質問を終わりたいと思います。

質問通告にない発言があったことを反省しております。

（ 午後1時31分 終了 ）